

## 次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会でもいただいた御意見の概要

### 1 会の名称

平成 30 年度第 1 回岩手県中小企業振興基本計画外部委員会

### 2 県側出席者

商工労働観光部

政策地域部政策推進室

### 3 開催日時

平成 30 年 6 月 19 日（火） 13 : 30～15 : 20

### 4 主な御意見の概要

- 幸福について
  - ・ 幸福というキーワードは、ものすごく抽象的だが、誰もが追求したいことなので、是非、打ち出して行って、いわば結の国と言えるような岩手にしてほしい。将来に悲観することなく、生きていけるような岩手になるような計画にしていきたい。
- 基本目標について
  - ・ 「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き、復興に取り組みながら、幸福を守り育てる希望郷いわて」という文言だと、一番に謳いたいことがぼやけるのではないか。「引き続き」という言葉により「今までと同じものだ」と、さらに、「希望郷いわて」で「今まででも言ってきた、これも同じものだ」と感じてしまう。
  - ・ 固い、あまりにも事務的な気がするので、自由に、良いコピーを公募するくらいの勢いでやったほうが、県民に浸透しやすいと思う。キャッチフレーズや、誰もが分かって、答えられるようなコピーがほしい。
- 重要構想について
  - ・ 重要構想にある I L C について、これをどのように全県的に波及させていくのか。県北広域振興圏の地域振興の展開方向には一切記載されていない。どう全県的な波及を狙っていくのかが見えてこない。
  - ・ 中小企業家同友会においては、これまでエネルギーヴェンデ、エネルギーシフトに取り組んできた。第 6 章「重要構想」に、「水素の社会経済活動における利活用」や「再生可能エネルギーなどの地域資源を活用した持続可能な循環型地域社会の構築」などの見出しがあり、感動的に感じている。中身はまだこれからということで、意見交換をする機会をいただければありがたい。

○ 政策推進の基本方向における商工分野について

- 地域の中小企業、経済振興の観点で、企業誘致が必ずしも振興になるとは限らない。地場の企業の雇用を荒らしてしまうことが理由。雇用条件が良い誘致企業が多いので、そちらに何百人単位で持っていかれる。ただでさえ人手不足で困るというのが生じかねないので、十分に考慮していただきたい。
- 企業誘致にはプラスのメリットもあると思うが、諸刃の剣で、デメリットもあることは認識していただきたい。
- 産業振興の中で、産業構造の7割を占めるサービス業の振興の点が記載されていないので、その辺りの戦略をもう少し明確にしていきたい。例えば、盛岡市は、典型的で、サービス業が産業構造の大多数を占めている。現行の「いわて県民計画」の第3期アクションプランにおいても、「商業・サービス業の振興」を掲げているので、お願いしたい。